



令和4年度 第10号 令和5年2月8日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自  
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

## 校長室の窓から 春の海 終日のたり のたり哉

はるのうみ ひねもすのたり のたりかな

与謝 蕪村 (よさぶそん)

校長 井久保 康彦

春の海が、うららかな春の日の下で一日中ゆったりと寄せては返す様子を詠んだ俳句です。いつの間にか暦は2月になり、3月(弥生)が目の前です。春の風を感じながら、いよいよ新しい出発、そして旅立ちの季節が間近となりました。

さて、1月14日に鹿児島育英館中・高等学校の宮元一頼校長先生に来校していただき「立志講話」を行いました。宮本校長先生のお話を聞く中で、自分自身の生き方や将来の目標を明確にできた生徒も多く、有意義な時間となりました。14歳になった子供を対象に多くの地域や学校で行われている「立志」の取組ですが、江戸時代までの武家社会で行われていた「元服式」にちなんでいます。武家社会では、14歳になると大人として扱われたことから、14歳の立春の日には、大人の仲間入りをするための儀式が「元服式」として、数え年で行われていました。その名残として現在では、元服式の代わりに学校や地域で、中学2年生を対象に「立志式」を設けて、自分の生き方を考える機会としています。

ところで、「立志式」の由来と言われる「立志」という言葉は、福井県生まれの武士「橋本左内」が15歳で学問を志す心構えを強く説いた『啓発録』という本の中に出てきます。彼は、幼少から学問が好きで、10歳の時には『三国志』を通読していたと言われます。ただ学問が好きというだけではなく、かなりの努力家でもありました。そして橋本左内は、自分が書いた『啓発録』の中で、彼は、本当に立派な人になるためには、五つの事柄が大切であると説いています。

- 『去稚心(稚心を去る)』 幼い心を捨てることができないと一人の人間としての自立ができない
- 『振気(気を振るう)』 人に負けないよう心を奮い立たせながらがんばる
- 『立志(志を立てる)』 自分が向上していこうとする心をしっかりと定め、人生の目標を立てる
- 『勉学(学に勉める)』 忍耐強く学ぶことで、自分の知識を豊かにし、心を練り上げる
- 『択交友(交友を択ぶ)』 自分の欠点を戒め正してくれる友をもつことが人生には必要

一つ目の『去稚心』とは、「幼い心のある間はいつまでたっても本気で勉強はできない」つまり幼い心を捨てることができないと一人の人間としての自立ができないということです。紙面の都合上、一つ一つを詳しく説明することはできませんが、簡単に解説すると、「気持ちをふるい立たせること」「目標を立てること」「勉強に励むこと」「高め合える友だちとつきあうこと」が、自立した大人になるために必要であるということです。

これを機会に、『立志』を迎える年齢になった2年生に限らず、全校生徒の皆さんに自分自身の生き方について考えてもらえたらと思います。

## 主な行事予定

月	日	曜	2月~3月の主な行事
2	14	火	学年末テスト(~16)
	17	金	PTA役員会
	21	火	1・2年授業参観・学級PTA
3	1	水	安全点検日 生徒集会
	2	木	公立高等学校学力検査(~3)
	8	水	防災訓練
	9	木	送別球技大会
	13	月	同窓会入会式 卒業式予行
	14	火	第76回卒業式(下記参照)
	15	水	公立高校合格発表
24	金	修了式 辞任式	

### 3月14日(火) 第76回卒業式について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第76回卒業式は、卒業生、在校生、卒業生保護者、学校運営協議委員のみの参加で行います。従いまして、御来賓の卒業式の御臨席を御遠慮申し上げることとしましたので、御理解と御協力をお願いいたします。

### 食に関する講話 1月24日(火) 全校朝会

市給食センターの内山栄養士をお招きして食に関してお話いただきました。

「食」は、脳の発達や身体の成長を含め、健康な生活のために重要で基礎となるものです。



栄養のバランスを考え、必要な栄養素がしっかりと吸収されるように、毎食に感謝していただきましょう。

努力目標

基本的な生活習慣の再確立を図ろう。

一事徹底

時間を守り、機敏に行動しよう。

## 入試激励式

1月16日(月)、入試激励式を行い、1、2年生から3年生へエールを送りました。



星のカードに、3年生を激励するメッセージをみんなで作りました。そのカードを生徒会役員が夜空に輝くように仕上げ、3年教室に掲示しています。いよいよ公立入試! がんばれ、3年生!

## 入学説明会

1月24日(火)に行われました。2年生が学校生活を紹介します。



技術・家庭科の授業で学校紹介のプレゼンテーションを作成し、2年生全員で参加者の保護者・児童のみなさんに中学校の生活について説明し、学校を案内しました。

## 立志式・記念講演

1月14日(土)に、家庭教育学級も併せて、キャリア教育総まとめの講話をいただきました。



「夢が人を育て、人が夢を育てる」という演題で、鹿児島育英館中学・高等学校の宮元一頼校長先生に講話いただきました。具体的にどのように進めていくか

## PTA立志記念遠行

1月14日(土)、臥龍梅でも有名な藤川天神で祈願し、とうとう五色親水公園までの往復を遠行しました。



あいにくの天気の中、保護者とともに、藤川天神にて、立志の祈願をしました。また、とうとう五色親水公園まで往復、約10kmの記念遠行を行いました。夢を育て、人を育てる一日になりました。

## 全国学力・学習状況調査

令和4年4月に実施された、全国学力・学習状況調査の結果です。

3年	本校	全国	県	全国との差	県との差
国語	88.0%	69.3%	69.0%	+18.7	+19.0
数学	62.0%	52.0%	47.0%	+10.0	+15.0
理科	62.0%	49.7%	49.0%	+12.3	+13.0

キャリア教育を軸とした取組も含め、昨年の課題を克服し、すべてにおいて上回る結果となりました。

## 標準学力検査(東京書籍版)

令和4年12月に実施された、標準学力検査(東京書籍版)の結果です。

1年	国語	社会	数学	理科	英語A
本校	86.5%	75.0%	81.8%	70.7%	82.3%
全国	59.0%	61.5%	52.4%	56.9%	51.4%
全国との差	+27.5	+13.5	+29.4	+13.8	+30.9

学力向上委員会において、各生徒の結果を分析し、成果と課題を確認しました。今後の教育活動において、手立てを講じつつ、補充・深化指導を進めていきます。併せて、ICTの効果的な活用や授業設計の工夫による学びの最適化を図っていきます。

2年	国語	社会	数学	理科	英語A
本校	65.7%	43.3%	61.9%	46.3%	61.3%
全国	68.5%	48.7%	51.1%	48.8%	54.2%
全国との差	-2.8	-5.4	+10.8	-2.5	+7.1

3年	国語	社会	数学	理科	英語A
本校	90.8%	77.1%	63.3%	73.5%	71.9%
全国	73.6%	68.5%	56.8%	65.2%	59.1%
全国との差	+17.2	+8.6	+6.5	+8.3	+12.8

## 鹿児島学習定着度調査

令和5年1月に行った鹿児島学習定着度調査の結果です。(R5.1.31現在の速報値)

1年	国語	社会	数学	理科	英語A
本校	91.7%	83.3%	94.7%	81.3%	87.0%
県内	70.5%	68.5%	70.9%	63.3%	76.3%
県内との差	+21.2	+14.8	+23.8	+18.0	+10.7

速報値との比較では、1年生は全教科で県平均を上回り、2年生は2教科で県平均を上回っています。基本的な知識を身に付け、根拠に基づいた主張ができるよう改善していきます。

2年	国語	社会	数学	理科	英語A
本校	62.3%	44.0%	75.6%	71.5%	64.5%
県内	71.3%	54.9%	72.6%	63.0%	68.1%
県内との差	-9.0	-10.9	+3.0	+8.5	-3.6

### ★2月を迎え、卒業を目前にして

入学式・卒業式・修了式…様々な節目がある。社会に出れば、結婚式・御葬式・祝賀会などの冠婚葬祭もあるだろう。この時、いろいろと日頃が滲み出るものだ。儀礼とは、型という約束事で成立している。これを身に付けずにいると、公の場での意識が欠け、「個」がむき出しになり、身に美しいと書く驕がないと見苦しく感じるものでもある。明らかに一朝一夕で隠せないものがある。見る人が見れば明らかだ。だからこそ時を大事にし、身に付けている人であってほしい。

卒業生は15年間、多くのことを学んだことだろう。その一つに、目に見えないものほど大切だということを加えてほしい。目に見えず、耳で聞こえず、手で触れないものはこの世に存在しないことではない。よく考えると、空気も、思いやりも、命も大事なものだ。心に残っているものこそ学びの集大成であり、学んだ証である。卒業式まで残りわずかな日々で、これまでの15年間を振り返り、眩しすぎて見えない未来を見通す時間にしてほしい。そして、卒業の日は、生きていることに感謝し、生きていくことを決意する瞬間になるといい。